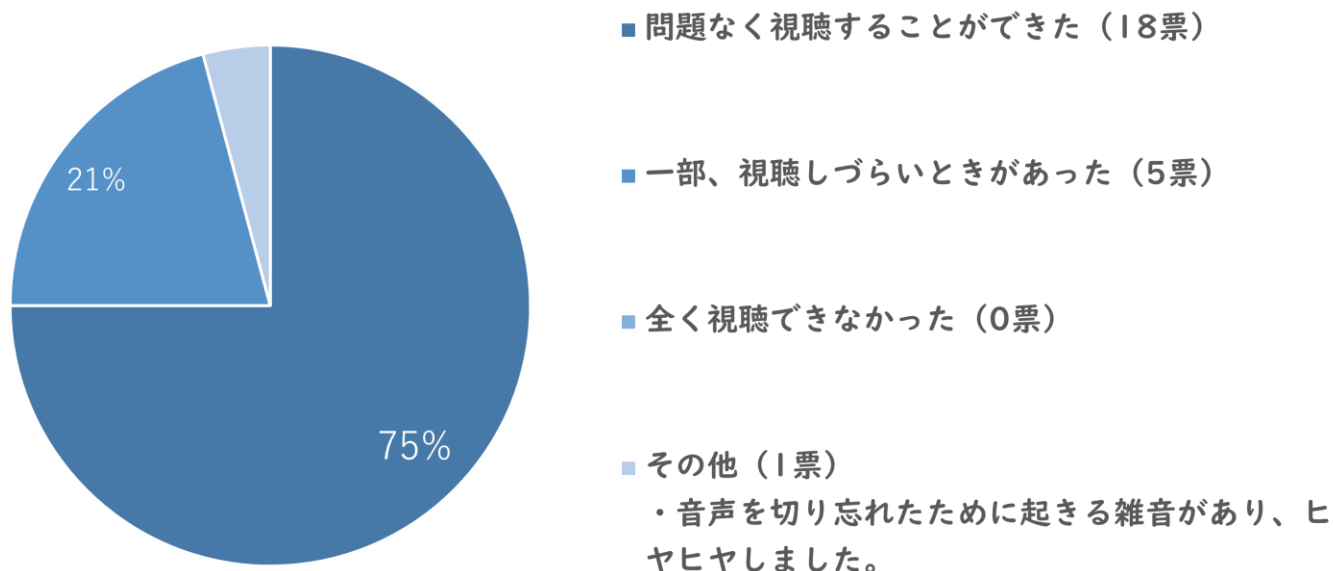


分科会関係者会・研修会④ アンケート結果

アンケート回答人数：24人

映像や音声について



沖特研の運営について(一部質問には回答)

- 最後の機器トラブル以外は良かったと思います。
- 西崎も遠方なので、参加者は個別に伺う予定です。西崎からは、校長含め、今のところ、5人予定しています。対応よろしくお願いします。
- 初めての分科会の参加になります。今日の分科会打ち合わせだけでは、私自身が当日の様子についてイメージを持ちにくく、もしかすると、当日を迎えるまでに疑問や確認したいことが出てくるかもしれません。その場合は、事務局の方へご質問させていただきます。すみませんがよろしくお願いいたします。
- 初めて参加します。運営の方々も大変だと思いますが、少しでもいい大会になるよう頑張りますので、よろしくお願いします。
- 初めての参加なので戸惑うところもありますが、事前ミーティングに参加して確認することもできたので良かったです。当日も宜しくをお願いします。
- 全体会から分科会への移行がとてもスムーズで、20分という短い時間でしたが各係の顔合わせと大まかな流れを確認できたので安心しました。
- 大変お世話になっております。大会当日のオンライン参加を了承してくださり感謝申し上げます。接続等々お手数をお掛け致しますがどうぞよろしくお願いいたします。

〈質問等〉

- 分科会内で「提案者から事例より共有したい悩み」についての提案があるかと思いますが、提案者の提出する指導案に明記するのでしょうか？明記された内容は当日の打ち合わせまでに分科会内で共有できますか？

《回答》ご質問ありがとうございます。提案者から「共有したい悩み」の明記は指導案の様式によって異なります。様式例も異なっており、書きにくい項目等があれば、項立てを変更してもかまいません。今回の提案者報告資料では、協議のキーワードとなる「共有したい悩み」が明記されている資料が多いです。また、各分科会の提案者資料は、後日（12月8日予定）事務局より、URLまたはQRコードにて閲覧できるように考えております。大会までに前持って提案者資料を確認いただきたいと思っております。

- 提案者①②の報告書は、当日配布される大会資料に掲載有でしたか。それとも事前にダウンロードでしょうか。

《回答》当日の資料配付は致しません。各分科会の提案者資料は、後日（12月8日予定）事務局より、URLまたはQRコードにてダウンロードできるように考えております。大会までに各自前持って提案者資料を確認いただきたいと思っております。

- 提案者への質問がない場合、「各分科会で質問を準備する」となっていますが、どの担当が質問を準備するのでしょうか？また、前もって準備した質問内容を提案者にも知らせる必要があるかと思いますが、、、（質問を考えるには提案内容も知っておく必要がある）どのような段取りかを知りたい。

《回答》ご質問ありがとうございます。質問を準備する担当は決めておりません。

後日、分科会関係者に提案原稿共有 URL をメールにて送信致します。そちらの方から、大会までに前持って提案者資料を確認いただき、提案者の「悩み」を共有いただき、質問内容やご意見のご参考になればと思っております。

質問に関しては、共有フォルダにて「提案者へ質問」という Word を共有致しますので、何か質問がありましたら、直接ご記入ください。記入メ切は12/4(木)までとさせていただきます。協議がより深く充実したものとなりますようご協力よろしくお願い致します。

- 協議で使用する付箋紙は、総務（美咲特支）で準備してもらえるのか？それとも持ち寄りでしょうか？
- P21.22に「付箋紙」とありますが、当日会場に配布されますか。当日の進行状況によって使用するかどうかは現時点不明ですが、必要に応じて使用できるのでしょうか。

《回答》ご質問ありがとうございます。協議で使用する付箋紙は美咲事務局でご準備致します。

- 分科会参加者が任意で実践事例を持ち込む際、配付資料は事務局が当日必要部数を配布、またはご自身で当日必要部数持参、ということではよろしかったでしょうか。
- 当日に必要な資料(提案者、指導助言者)について
分科会で必要な資料は事務局で準備するのか・・・報告者等になるのか。 また当日追加で配布資料がある場合は、何部準備したらよいか。

《回答》 各分科会会場に会場運営係がおりますので、お声かけ下さい。係の方で印刷致します。

- 記録の提出について
1月6日までに提出となっている。事務局のパソコンを使用するが、まとめる時にはどのような形でデータを持ち帰るか？One Drive にアップとなりますか？

《回答》 研究大会当日に記録したデータは、Google ドライブにて共有したいと考えております。研究大会終了後、記録係にメールでご案内致しますので、ご確認宜しくお願い致します。

研修会④の平均評価 : 4.7 / 5

研修会④について(講師への感想等)

安倍陽子先生のお話はとても分かりやすく、頭の中にストン、ストンと入ってきました♪とても理解しやすかったです。子ども理解から支援へということで、今日は大切なポイントをたくさん教えていただきました。本日の学びを職員にも共有し、これからの支援に活かしていきたいです。本日は誠にありがとうございました。
自閉症スペクトラムの方は失敗体験が良くないという話が心に残った。成功体験ができるようにスモールステップを心がけていきたい。
・教材・教具、道具はいつでも使えるように準備しておくことが大切だという言葉が印象的です。子どもの様子をよく見て、どんな工夫が子どもに届くか考えながらこれからも頑張っていきたいです。 ・知的に高い子ほど、切り替えが難しいという言葉に深く共感しました。その場合の構造化をどのようにしていくか、考えていきたいです。
その子に合わせた支援は子ども理解ができていなければ難しいと感じています。個をしっかりみとっていけるように視野を広くして対応していきたいと思いました。ありがとうございました。
支援の「構造化」についての具体例がとても具体的で、また、小学部段階から大人になるまでの本人の様子や支援の程度の変化が見れてとても勉強になりました。特に障害が重度の場合、学習面、生活面の両方ですのように支援を構造化できるかがその後の生活に大きく関わってくることを感じ、特別支援教育の大切さを改めて感じました。
本日はありがとうございました。私の抽象的なことばも、生徒たちが飲み込んで対応してくれている場面がたくさんあるのだらうと反省しました。お互い安心できる関わり方をしていきたいと思います。
とても充実した内容で勉強になりました。構造化についてその重要性を教えていただきました。早速本校の職員に情報共有しました。ありがとうございました。
学校生活の中で、抽象的な言葉をつい使いがちになってしまいましたが、具体的に相手に伝える大切さや、絵カード等を利用して「見せて伝える」ことの大切さを改めて感じました。相手のことを思ってより上手くコミュニケーションを取れるように、これからも常に意識していきたいです。ありがとうございました。
本日は、小学校の特別支援学級、また、通常学級でも活用できる内容がたくさんありました。子ども達の実態に合わせて取り入れ、安心して過ごせる環境を整えたいと感じました。ありがとうございました。